

令和 7 年度予算概要

1 予算の概要

1 予算の編成

令和 7 年度予算は、名古屋港が中部圏の「ものづくり産業」を物流面で支える「国際産業戦略港湾」の実現に向けて、港の強靱化を図るとともに更なる港湾の管理運営の効率化や次世代エネルギーである水素の利活用などによるカーボンニュートラルポート（CNP）形成の推進に取り組むため、限られた財源を重点的かつ効率的に配分した。

景気は、雇用・所得環境が改善するもとで緩やかな回復が続くものの、欧米における高い金利水準の継続や中国における不動産市場の停滞の継続に伴う影響など、海外景気の下振れが景気を下押しするリスクとなっており、本組合において、歳入は、主に岸壁使用料等の港湾施設関連収入で緩やかな回復傾向がみられるものの、土地関係収入は減収となり、財政状況は依然として厳しい状況が続いているなかで、更なる利用促進、効率的運用により、見込み得る限りの歳入を計上した。

また、歳出は、行政経費について可能な限りの削減に努めるとともに、国の「港湾の中長期政策（PORT2030）」を踏まえ、船舶の大型化等への対応、名古屋港管理組合インフラ長寿命化計画（行動計画）に基づいた老朽化対策及び災害対策の充実強化、さらには親しまれる港づくりなど、多様な要請に応える予算とした。

また、第 6 次行財政改革計画においても引き続き、更なる収入の確保及び経費削減努力を継続しつつ、安定的かつ持続可能な財政運営に努めていく。

2 予算の規模

令和 7 年度の予算規模は、一般会計、基金特別会計、施設運営事業会計及び埋立事業会計の 4 会計を合わせて 408 億 730 万円である。これは、対前年度比較で 15 億 6,440 万円の増加となっている。

会 計 区 分	令和 7 年度		令和 6 年度		対前年度比較	
	予 算 額	構成比	予 算 額	構成比	増△減額	伸 率
一 般 会 計	千円 30,170,000	% 73.9	千円 29,980,000	% 76.4	千円 190,000	% 0.6
基 金 特 別 会 計	260,300	0.6	290,900	0.8	△ 30,600	△ 10.5
施設運営事業会計	8,076,000	19.8	7,112,000	18.1	964,000	13.6
埋 立 事 業 会 計	2,301,000	5.7	1,860,000	4.7	441,000	23.7
計	40,807,300	100	39,242,900	100	1,564,400	4.0

(注) 施設運営事業会計及び埋立事業会計については、収益的支出及び資本的支出の合計額である。

2 一般会計

令和7年度の一般会計は、船舶の大型化等に対応するため、飛島ふ頭岸壁及び金城ふ頭岸壁などの整備に積極的に取り組むこととしている。また、弥富ふ頭岸壁改良及び昭和ふ頭岸壁改良などの老朽化対策、今後想定される大規模地震に対応した災害対策として港内防潮壁改良などの地域防災機能の強化及び緑地整備を始めとする良好な港湾環境の形成を図るため、次の3点を重点施策とする予算とした。

- (1) 国際競争力及び産業競争力の強化と港湾物流の環境変化に対応した港づくり
- (2) 港湾の安全確保と大規模災害にも対応できる地域防災を目指した港づくり
- (3) 環境にやさしく、夢・うるおい・にぎわいのある親しまれる港づくり

その予算額は、301億7,000万円で、対前年度比較で1億9,000万円、率にして0.6%の増加となっている。

歳 入

歳 入 区 分	令和7年度		令和6年度		対前年度比較	
	予 算 額	構成比	予 算 額	構成比	増△減額	伸 率
県 市 負 担 金	千円 6,762,236	% 22.4	千円 6,540,212	% 21.8	千円 222,024	% 3.4
そ の 他 負 担 金	1,641,175	5.4	1,555,513	5.2	85,662	5.5
使用料及び手数料	4,485,893	14.9	4,461,195	14.9	24,698	0.6
国 庫 支 出 金	2,261,000	7.5	1,807,200	6.0	453,800	25.1
財 産 収 入	4,675,749	15.5	4,694,753	15.7	△ 19,004	△ 0.4
寄 附 金	10	0.0	10	0.0	0	0.0
繰 入 金	752,140	2.5	206,400	0.7	545,740	264.4
繰 越 金	200,000	0.7	300,000	1.0	△ 100,000	△ 33.3
諸 収 入	1,921,797	6.4	1,924,717	6.4	△ 2,920	△ 0.2
組 合 債	7,470,000	24.7	8,490,000	28.3	△ 1,020,000	△ 12.0
計	30,170,000	100	29,980,000	100	190,000	0.6

歳入予算のなかで、例年大きな構成割合を占めている県市負担金は、組合の経費に対し、見込み得る施設使用料及び組合債等の収入を充て、なお不足する額について、名古屋港管理組合規約に基づき愛知県及び名古屋市よりそれぞれ2分の1の負担を仰ぎ、その使途については単に一般財源の不足額に充てるのではなく、主として投資的経費としての公共事業に係る地方負担額及び地方負担額に充てるために措置した組合債の元利償還金等に充当しているものである。本年度は組合債の元利償還金等の増加により、対前年度比較で2億2,202万4千円、率にして3.4%の増加となる67億6,223万6千円を計上した。

また、平成6年度に起債充当率が引き上げられ、当該年度の公共事業に充てる県市負担金は抑制されたものの、後年度負担の公債費に充てる県市負担金が増加したことにより、令和7年度予算では県市負担金の87%を公債費が占める状況となっている。

次に歳入の大宗をなし、かつ、自主財源として財政の弾力的な運営に影響する使用料及び手数料並びに財産収入は、主に岸壁使用料等の港湾施設関連収入で緩やかな回復傾向がみられ、対前年度比較で569万4千円、率にして0.1%の増加となる91億6,164万2千円（歳入構成比30.4%）を計上した。

また、組合債は、公共事業に係る地方負担額の減少などにより、対前年度比較で10億2,000万円、率にして12.0%の減少となる74億7,000万円を計上した。

その他例年どおり、国庫支出金、繰入金、諸収入等の歳入を予算措置した。

歳 出

歳 出 区 分		令和 7 年度		令和 6 年度		対前年度比較	
		予 算 額	構成比	予 算 額	構成比	増△減額	伸 率
議 会 費		千円 183,823	% 0.6	千円 194,877	% 0.7	千円 △ 11,054	% △ 5.7
総 務 費		3,091,709	10.3	2,889,890	9.6	201,819	7.0
港 営 費		3,151,782	10.4	2,601,852	8.7	549,930	21.1
政策企画費・建設費	補 助 事 業	5,550,600	18.4	4,326,000	14.4	1,224,600	28.3
	直 轄 事 業	4,671,950	15.5	6,497,900	21.7	△ 1,825,950	△ 28.1
	起 債 事 業	667,100	2.2	731,500	2.4	△ 64,400	△ 8.8
	単 独 事 業	6,009,036	19.9	5,852,981	19.5	156,055	2.7
	小 計	16,898,686	56.0	17,408,381	58.0	△ 509,695	△ 2.9
公 債 費		6,814,000	22.6	6,855,000	22.9	△ 41,000	△ 0.6
予 備 費		30,000	0.1	30,000	0.1	0	0.0
計		30,170,000	100	29,980,000	100	190,000	0.6

歳出予算は、組合議会の運営に要する経費として議会費に 1 億 8,382 万 3 千円の計上を始め、一般管理事務に要する経費として総務費に 30 億 9,170 万円 9 千円を、また港湾施設等の管理運営に要する経費として港営費に 31 億 5,178 万 2 千円を計上した。

次に港湾施設整備等に関連する経費として政策企画費及び建設費に、補助事業 55 億 5,060 万円、直轄事業の港湾管理者負担金 46 億 7,195 万円、起債事業 6 億 6,710 万円、単独事業 60 億 903 万 6 千円の合わせて 168 億 9,868 万 6 千円を計上した。

また、これら公共事業を行うに当たっては、財源を組合債に求めることが多く、この組合債の元利償還金として、対前年度比較で 4,100 万円減額の 68 億 1,400 万円（歳出構成比 22.6%）を公債費に計上した。

なお、これらの港湾整備事業等を重点施策別に示すと次表のとおりである。

港湾整備事業の重点施策別内訳

区 分	主 な 事 業 内 容	予 算 額
国際競争力及び産業競争力の強化と港湾物流の環境変化に対応した港づくり	岸壁・航路整備 (飛島ふ頭岸壁改良、金城ふ頭岸壁改良等)	千円 (2,544,300) 1,506,300
	基本計画調査 (名古屋港長期構想検討調査等)	151,400
	脱炭素化の推進 (陸上電力供給設備検討調査等)	107,080
	計	(2,802,780) 1,764,780
港湾の安全確保と大規模災害にも対応できる地域防災を目指した港づくり	泊地維持 (港内泊地)	(9,127,600) 4,204,550
	岸壁・護岸改良等 (弥富ふ頭岸壁改良、昭和ふ頭岸壁改良等)	(2,928,678) 2,873,678
	港湾防災対策 (港内防潮壁改良、中川口ポンプ所 1 号機分解整備等)	2,789,397
	臨港交通施設補修等安全対策 (潮風橋耐荷補強、金城橋補修等)	1,943,197
	港湾施設保安対策 (保安対策施設維持等)	612,820
	計	(17,401,692) 12,423,642
環境にやさしく、夢・うるおい・にぎわいのある親しまれる港づくり	港内環境対策等 (中川運河護岸改良・プロムナード整備、大江川地区汚染土壌対策等)	1,886,349
	港湾厚生施設等 (ガーデンふ頭西駐車場整備等)	562,499
	水族館 (施設補修等)	262,998
	クルーズ船対応 (会場設営等)	219,920
	再開発整備等 (ガーデンふ頭バンケット取壊し等)	208,917
	計	3,140,683

(注) 事業費に係る () は直轄事業の国負担分を含む。

3 基金特別会計

名古屋港における親しまれる港づくり事業の振興と事業の円滑な推進を図るため、本組合では3つの基金を設置している。基金特別会計の令和7年度の予算額は2億6,030万円で、主な事業内容は次のとおりである。

(1) 名古屋港水族館振興基金

名古屋港水族館振興基金の予算額は6,520万円で、水族館における水族の円滑な確保、展示効果の向上等水族館の振興に資するため、基金に2,470万円を積み立てるほか、水族館特別展等に充てるため4,050万円を繰出金に計上した。

(2) 名古屋港海事文化振興基金

名古屋港海事文化振興基金の予算額は4,920万円で、名古屋港における海事文化に関する施設の充実、海事文化思想の普及等海事文化の振興に資するため、基金に1,146万円を積み立てるほか、南極観測船ふじ40周年記念事業等に充てるため3,774万円を繰出金に計上した。

(3) 名古屋港環境振興基金

名古屋港環境振興基金の予算額は1億4,590万円で、名古屋港における大規模緑地施設の充実及び港湾緑化の円滑な運営等環境の振興等に資するため、基金に7,200万円を積み立てるほか、臨港緑地維持費等に充てるため7,390万円を繰出金に計上した。

歳 入

歳 入 区 分		令和 7 年度		令和 6 年度		対前年度比較	
		予 算 額	構成比	予 算 額	構成比	増△減額	伸 率
水族館振興基金収入		千円 65,200	% 25.0	千円 108,900	% 37.4	千円 △ 43,700	% △ 40.1
	財 産 収 入	1,100	0.4	32	0.0	1,068	著増
	寄 附 金	1,600	0.6	1,500	0.5	100	6.7
	繰 越 金	—	—	10	0.0	△ 10	皆減
	積 戻 金	40,500	15.6	107,348	36.9	△ 66,848	△ 62.3
	繰 入 金	22,000	8.4	10	0.0	21,990	著増
海事文化振興基金収入		49,200	18.9	75,000	25.8	△ 25,800	△ 34.4
	財 産 収 入	420	0.2	38	0.0	382	著増
	寄 附 金	40	0.0	100	0.0	△ 60	△ 60.0
	繰 越 金	—	—	10	0.0	△ 10	皆減
	積 戻 金	37,740	14.5	63,852	22.0	△ 26,112	△ 40.9
	繰 入 金	11,000	4.2	11,000	3.8	0	0.0
環 境 振 興 基 金 収 入		145,900	56.1	107,000	36.8	38,900	36.4
	財 産 収 入	340	0.1	80	0.0	260	325.0
	寄 附 金	1,660	0.7	1,700	0.6	△ 40	△ 2.4
	繰 越 金	—	—	20	0.0	△ 20	皆減
	積 戻 金	73,900	28.4	35,200	12.1	38,700	109.9
	繰 入 金	70,000	26.9	70,000	24.1	0	0.0
計		260,300	100	290,900	100	△ 30,600	△ 10.5

歳 出

歳 出 区 分		令和 7 年度		令和 6 年度		対前年度比較	
		予 算 額	構成比	予 算 額	構成比	増△減額	伸 率
水 族 館 振 興 基 金		千円 65,200	% 25.0	千円 108,900	% 37.4	千円 △ 43,700	% △ 40.1
	積 立 金	24,700	9.5	1,552	0.5	23,148	著増
	繰 出 金	40,500	15.5	107,348	36.9	△ 66,848	△ 62.3
海 事 文 化 振 興 基 金		49,200	18.9	75,000	25.8	△ 25,800	△ 34.4
	積 立 金	11,460	4.4	11,148	3.8	312	2.8
	繰 出 金	37,740	14.5	63,852	22.0	△ 26,112	△ 40.9
環 境 振 興 基 金		145,900	56.1	107,000	36.8	38,900	36.4
	積 立 金	72,000	27.7	71,800	24.7	200	0.3
	繰 出 金	73,900	28.4	35,200	12.1	38,700	109.9
計		260,300	100	290,900	100	△ 30,600	△ 10.5